

参議院契約監視委員会定例会議議事概要

開催日	平成24年10月24日(水)		
場所	参議院第二別館東棟4階 東401会議室		
出席委員氏名	委員長	筆谷 勇(公認会計士・東京都監査委員)	
	委員	阿部 哲(株式会社アイセイ薬局 社外監査役)	
	委員	木下 哲(公認会計士)	
審査対象期間	平成24年5月1日～平成24年8月31日		
抽出委員の選出	木下委員を抽出委員に指定		
抽出案件	3件		
一般競争入札	2件	契約件名	参議院の審議テレビ中継に関する総合運用請負業務
		契約相手方	株式会社ワイドスタッフ
		契約金額	51,673,282円
		契約締結日	平成24年6月27日
	2件	契約件名	本館電力幹線設備(西側)改修その他工事
		契約相手方	株式会社関電工
		契約金額	43,890,000円
		契約締結日	平成24年7月24日
随意契約	1件	契約件名	議員LAN用クライアントパーソナルコンピュータ等の導入に係る設定等業務
		契約相手方	東芝ITサービス株式会社
		契約金額	66,171,000円
		契約締結日	平成24年8月3日
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問		回答
	別紙のとおり		別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし		
その他審議	変更契約(第1回) 平成23年度に変更契約を行った事案[工事]について		

意見・質問	回答
<p>1. 報告事項</p> <p>入札及び契約手続きの運用状況について 意見なし</p> <p>指名停止の運用状況について 意見なし</p> <p>談合状況への対応状況について 該当なし</p> <p>2. 抽出事案の審議</p> <p>A 参議院の審議テレビ中継に関する総合運用請負業務 一般競争入札（総合評価落札方式） [役務]</p> <p>① 本件の予定価格の積算はどのように行っているか。</p> <p>② 本件は単価契約であるが、実績の確認はどのように行っているのか。</p> <p>③ 一者応募・一者応札であるが、今後の対応はどのように考えているか。</p> <p>④ 本件業務の一部について再委託は行っていないのか。</p>	<p>積算資料に基づき単価を算出した上で、業者から提出された提案見積書の個別の単価を検証するプロセスを経て、過去の実績を踏まえた予定数量を乗じて予定価格を算定している。</p> <p>審議時間は、会議録に開会時刻及び散会時刻の記載があり、その時間をもとに業務時間の確認を行っている。</p> <p>随意契約から一般競争入札（総合評価）に移行するなど調達方式の見直しを進めてきたところであり、中継業務の特殊性を踏まえつつ、更なる競争性を高めるための努力を続けて参りたい。</p> <p>契約業者は、常勤社員以外に技術者を契約社員として雇用しており、第三者への一部再委託は行っていない。業務の性質上、あらかじめ原課において、経歴等の審査を行い、登録された要員で業務を行っている。</p>

<p>B 議員LAN用クライアントパーソナルコンピュータ等の導入に係る設定等業務随意契約方式（不落・不調随意契約） [役務]</p> <p>① 設定業務だけを分けて入札した趣旨は何か。</p> <p>② 本件に係る機器の賃貸借契約の相手方も同一業者であり、一括調達のメリットを活かした状況ではなかったか。</p> <p>C 本館電力幹線設備（西側）改修その他工事 一般競争入札（総合評価落札方式） [工事]</p> <p>① 本件が低入札価格調査の対象になった要因は何か。</p> <p>② 本件の予定価格の積算はどのように行っているのか。</p> <p>③ 調達機器類の中の主幹盤・分電盤は市販されているのか。</p>	<p>情報システムに係る調達は分離調達が原則であると考えており、本件についても、CIO補佐官の助言も踏まえて、競争性の確保の観点から分離調達を行った。</p> <p>基本的な考え方は、前記（①）のとおりであるが、調達対象のどの単位で分離調達を行うのが最も競争性を高め、調達コストの低減等につながるのか、本件も含めて検証を行いながら、今後の調達方針に活かして参りたい。</p> <p>落札業者にとって、機器類の調達が予定価格より低い金額で可能だったと考える。</p> <p>機器については、業者からの見積りを参考にするとともに、機器以外の部分については、公共工事の積算基準に則って算出している。</p> <p>国会議事堂本館には昭和11年竣工当時の分電盤の箱が壁に埋め込まれており、その形状に合うよう仕様書で定めているものであり、市販されているものではない。</p>
<p>D 変更契約について</p>	<p>事務局から変更契約について説明を聴取した。</p>